

環境省と NGO との意見交換会のあり方

グリーン連合 事務局長 古瀬繁範

今後の環境省と NGO との意見交換会が、相互の情報交流と率直な意見交換をベースにして、日本の環境政策のより前進や環境 NGO 活動の発展と、協働につながるものなることを願って次のことを提案したい。

1. 定期化する

年 2～3 度の実施を目途に開催を定期化していく

2. 開催場所・議長(司会)・公開・議事概要

開催場所は、当面の間は、東京での開催とする。ただ多数の NGO が各地で活動が続いているので、条件が整ったら、東京以外での開催も視野に入れておきたい

議長(司会)は、毎回環境省とグリーン連合が共同で行う。

会は公開とし、議事概要を後ほど作成する。議事概要はグリーン連合と環境省が文責を有するものとし、公開としたい。

3. 参加者・運営体制

参加者は、環境省は議題に応じて適切と思われる者を環境省及び関連団体から出席をお願いしたい。NGO は、グリーン連合を窓口となり広く全ての環境 NGO から求めることとしたい。

4. 議題の設定方法

議題は、事前に環境省とグリーン連合の間で協議して設定することとしたい。

5. 意見交換から連携・協働へ

意見交換会の議論から連携・協働に発展できる内容については、本意見交換会とは並行して、具体的な協議もしていくことが可能としたい。協働の原則である対等性と相手への敬意、相乗効果の創出を大切にする

以上